# 空き家改修プロジェクト 活動紹介

空き家改修プロジェクト
東伊豆設計室

# 目次

01 | ダイロクキッチン

02 | EASTDOCK

03 | IZU AGEMONO STAND

04 | くんちゃんの駄菓子屋さん　公募案件

# はじめに

## 空き家改修プロジェクト(AKP)とは...

私たちは芝浦工業大学の建築を学ぶ学部生1〜3年生で構成され、空き家改修を通して、地域活性化を目指す学生団体です。

「AKP稲取設計室」が東伊豆町（稲取）で活動を始め、今年で10年を迎える。東伊豆町と関わる中で、空き家を改修するだけではなく、まちを活性化させることを第一の目標として活動している。

その過程でうまれる学生と地元住民の方との交流や意識の変化。これらを通して、人と人、地域と人、建築と人との関りについて、建築学生ならではのアプローチを模索しながらまちの人の新たな拠り所を作り、地域活性化を共に目指していきたいと学生一同考えている。

東伊豆設計室の活動は
こちらからもご覧いただけます!
Instagram : @intori_akp

【注記】
- 当資料は各物件の主なスケジュールや予算をまとめたものである。
- IZU AGEMONO STAND は施主の依頼により、1 年間でのプロジェクトであったが、必ずしも同様のスケジュールで遂行できるわけではない。
- 訪問日程は物件により大きく変動する。

# ダイロクキッチン

竣工：2017 年 1 月
延べ床面積：92.5 ㎡
構造：RC 造＋木造
総工費：約 175 万円

空き家になっていたまちの旧消防団跡地「第六分団」の器具置き場として使われていた物件をシェアキッチンとして改修。海と山の幸に恵まれた稲取で「食」をテーマに町内外の人が関わりを持てる居場所として改修をしながら、街の人とコミュニケーションを重ね、改修後の使われ方を様々な可能性を模索しながら、現在はレンタルスペースやチャレンジショップができるようになっている。

その時々の時代のニーズやまちの人の声に合わせて、ダイロクキッチンの在り方も順応し続けている。まちの方はもちろん、移住者や初めて訪れる方、再訪問してくれた方が集まりやすくより魅力を感じやすくなるような居場所となっている。

改修 ...

# EAST DOCK

東海汽船稲取港のチケットカウンター・事務所として用いられていたが、1 ～ 3 月の運行期間以外機能しないため空き家同然となっていた。改修によって元の機能を残しつつも「ひとづくり」「ことづくり」「ものづくり」を通じて街にプロジェクトを出航させる、港のシェアスペースとなっている。

2016年度に1階部分2017年度に 2 階部分、2018年度に家具・内装の改修を行った。船の到着を待つ人、勉強をする学生、仕事をする社会人など様々な人が海を見ながらゆっくりと落ち着ける空間を作り出した。

改修 ...

総工費

| | |
|---|---|
| 内装費 | 34.2 万円 |
| 外装費 | 10.7 万円 |
| その他備品 | 6.8 万円 |
| 合計 | 51.7 万円 |

（内訳）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ▽内装費 | 34.2 万円 | ▽外装費 | 10.7 万円 |
| 布天井 | 11.8 万円 | トイレ | 5.0 万円 |
| 待合室 | 10.4 万円 | 外壁・シャッター | 4.4 万円 |
| 展示室 | 8.6 万円 | ベンチ（屋外） | 1.3 万円 |
| ベンチ（屋内） | 3.4 万円 | | |

# IZU AGEMONO STAND

稲取温泉場の通りに面した４階建ての物件の１階部分を改修。元々、地元の方が集まる街の居酒屋として愛されていたが、数年前から空き家となっていた。内装の老朽化が激しく、また雨漏りも見られた。度重なるテナントの入れ替えとその都度行われた改修により、空間デザインとしてまとまりがなく多くの要素がみられた。

「食・モノ・空間」で pick した魅力をそれぞれ展開していく「揚げ物 × セレクトショップ」。地元の人の日常と観光客の非日常が交差する。季節や時間によっても雰囲気が変化する、新しく親しみやすいお店。

修繕 ...

| 総工費 | |
|---|---|
| 設備費 | 300 万円 |
| 内装費 | 70 万円 |
| 家具 | 15 万円 |
| その他 PR 費など | 15 万円 |
| 合計 | 400 万円 |

| | |
|---|---|
| 厨房設備 | 91 万円 |
| エアコン工事 | 83 万円 |
| 厨房換気設備 | 64 万円 |
| 電気工事 | 50 万円 |
| 空気清浄機・レジ | 12 万円 |
| （設備費内訳） | 300 万円 |

# くんちゃんの駄菓子屋さん　公募案件

伊豆熱川駅から車で５分ほどの奈良本地区。地元の子供たちが放課後集い遊ぶ場がなかった。清掃業を営む施主様が会社の倉庫として使われていた場所に、レトロゲーム機と什器を設置し子供たちだけでなく大人も懐かしく楽しめる駄菓子屋をつくった。

使いやすい什器やゲーム機の配置はどのようなものか仮営業やワークショップを行い、子供たちと交流しながら計画を進めていった。

平日は学校帰りの小学生、土日は親たちが集い新たな交流が生まれる場所が熱川に誕生した。

改修 ...

竣工：2024年２月